

■臨床薬物動態学分野（医学部附属病院薬剤部）では、癌の病態解析とバイオマーカー探索・新規治療法の開発、腎障害治療薬の探索開発、抗がん薬の個別化投与設計等の基礎・臨床研究に興味のある大学院生（薬学教育部博士前期課程・博士後期課程、博士課程・医療薬学専攻）を募集しています。

*入学試験等（一般・推薦）に関する情報の詳細は、こちら

http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/phagrad/admission_information/をご確認ください。

■当研究分野で展開している下記の研究プロジェクトに興味があり、将来、製薬企業の開発・研究員、高度な専門性を有する病院薬剤師、アカデミック分野の研究者等を志す大学院生を募集します。

I. 腎機能障害に伴う病態進展因子群と薬物動態変動に関する基礎・臨床研究

- I-1. 急性・慢性腎不全時における分子標的薬の体内動態変動機序の解析
- I-2. 心腎連関ファクターとしての低分子型尿毒症物質の役割解明と治療薬探索
- I-3. 白金系抗癌薬の腎毒性発現機序並びに遺伝的要因の臨床的究明
- I-4. 腎線維化を制御する分子メカニズムの解明

II. 癌の病態解析とバイオマーカー探索および新規治療法の開発

- II-1. 口腔癌、乳癌、脳腫瘍、骨肉腫、肺癌の病態解明ならびに新規治療法の確立に向けた研究
- II-2. 抗がん剤に対する薬剤耐性獲得メカニズムの分子生物学的解明
- II-3. 新規腫瘍バイオマーカーの開発並びに分子標的治療薬の開発を目指したターゲット分子の探索
- II-4. 腫瘍抑制遺伝子と相互作用する分子の網羅的解析

III. 化学療法薬の体内動態インフォメーションに基づく個別投与設計法に関する研究

- III-1. 抗癌薬の Pharmacokinetics (PK)/Pharmacodynamics(PD)/Pharmacogenetics(PG)に関する臨床研究
- III-2. 抗癌薬の体内動態制御・相互作用に関わる代謝酵素・トランスポーター群の機能探索
- III-3. 新規 HIV プロテアーゼ阻害薬の体内動態制御機序に関する研究
- III-4. iPS 細胞を活用した薬物の体内動態制御機序の評価系の確立

*これらの研究に関する研究業績/発表論文も下記サイトでご参照ください。

<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/pharmacy/division/results.html>

■研究プロジェクトに興味のある方は、ご連絡のうえ研究室まで見学にお越しください。

連絡先：齋藤秀之 [saitohide\(アット\)fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp](mailto:saitohide@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp) : 096-3737-5820

城野博史 [hjono\(アット\)fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp](mailto:hjono@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp) : 096-373-5823

■研究テーマの決め方

現在研究室で進めている研究プロジェクトの具体的な取り組み内容等について理解していただき、本人との話し合いや相談の中で決めていきます。独自のアイデアや着想も尊重し取り入れながら、研究チームの一員として活躍することとなります。

■研究者（製薬企業、薬剤師、アカデミック）になるための資質

自然科学・実験科学に対する好奇心を持ち合わせながら、新たな薬物治療法の開発に興味と意欲がある人に向いています。さらに、柔軟で自由な発想と根気強さを持ち合わせていれば最高です。

一方、研究はチームとして取り組んでいますので、研究者相互の理解と協調性が必要とされます。

■研究室の教育方針

将来、製薬企業研究所、病院薬剤部門、アカデミック分野等で研究者として活躍できる人材の育成に重点を置いています。毎週開催している論文セミナーの発表では、薬物動態や毒性、投与設計等の研究に関連するトピック的論文を中心に、各学生が順番に担当し、パワーポイントを利用してプレゼンテーションと討論を行っています。学会発表や公衆前でのプレゼンテーション力の向上にも役立っています。また、米国癌学会、米国臨床腫瘍学会、米国腎臓学会等の一流国際学会でも発表できる資質を身につけるため、英語でのプレゼンテーションやディスカッションも随時取り入れています。